

平和の祈り感じて

故平山郁夫さん(一)・平和への祈り

きょうから

九三〇(二〇〇九年)「郁夫作品展」が二十三日の画業を振り返る「シルクロード・仏教伝来」北区の市浜北文化セン



平山さんの作品を展示する関係者＝浜松市浜北区の市浜北文化センターで

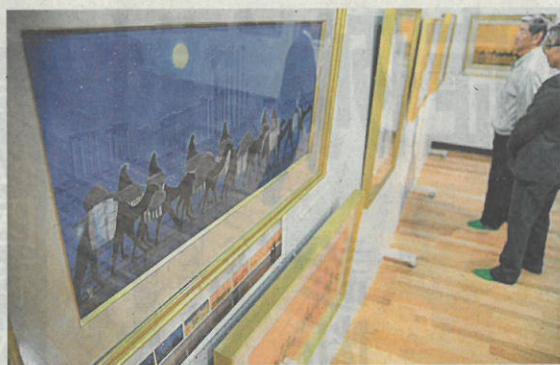
ターで開かれる。

「仏教伝来」(一九五九年)から「万葉月華図」(二〇〇九年)までの工芸画や版画の計約四十点を展示販売。

出世作の「流砂浄土変」や、砂漠の隊商を描いた「パルミラ遺跡に行く」などシルクロードに関連する作品が並ぶ。収益の一部は東日本大震災子ども支援基金などに寄付する。

二十二日は、企画した書籍や映像商品を企画・出版する「ほるぷエアンドアイ」(大阪府枚方市)が会場準備。同社の市原清人社長(六三)は「平山さんがシルクロードに込めた思いを見てもらいたい」と話した。

(宮沢輝明)



浜北区 平山郁夫氏の版画40点展示

戦後の日本美術史を代表する画家の平山郁夫氏(1930~2009年)の版画の展示販売会が23日、浜松市浜北区の浜北文化センターで始まった＝写真＝。シルクロードや平和などを題材にした約40点が並ぶ。26日まで。

シリアの世界遺産パルミラ遺跡の前をラクダが歩く「パルミラ遺跡に行く」は夜と朝の2場面を表現。ハトを入れて描いた第46回院展の大観賞受賞作「入涅槃(ねはん)幻想」や、フランスのカトリック教徒を描いた「祈りの行進・聖地ルルド」など晩年の意欲作もある。平山氏

のほか東山魁夷らの作品約30点も並べた。

同会は絵画展企画会社「ほるぷエアンドアイ」(大阪府枚方市)の主催で、収益の一部は日本ユネスコ協会連盟の「東日本大震災子ども支援募金」に充てる。